

第一節 豫算及決算額

本邦工事ノ專業費豫算ハ工事者手以來完成ニ至ル迄ノ間ニ於テ、中途金融界ノ影響ヲ受ケ、專業費金融通ノ支障或ハ工事中途放棄ニ依リ、設計ノ變更等種々ノ事情ノ爲メ廣ク豫算改訂ノ餘儀ナキニ至リ。昭和五年ヲ以テ大體工事ヲ完了スルニ至レルモノナリ。

以下項ヲ分チテ之ヲ經過ノ大體ヲ記述セムトス。

一 當初計畫ニ依ル專業費豫算

本邦新設専業ハ當初自大正九年至十四年ノ六年間ニ完成ス可キ豫定ノ下ニ總工費豫算四、二〇〇〇萬圓ヲ定メ、該豫定額中一、二〇〇萬圓ハ總工費ノ〇、二八五（一）ヲ補助ニ仰ギ三、〇〇〇萬圓ハ之ヲ組合員ノ負担トシ、其ノ徴收方法トシテ鐵道面積十五万甲中、左産力（田畑魚鹽等）アル十三万五千甲ニ對シ、鐵道工事進工期間中臨時賦課金トシテ、毎年度平均十四圓ヲ徴收シ、其ノ不足額ハ之ヲ一時起債ニ求メ以テ工事ノ完成ヲ期シタリ。

以上ノ計畫ニ基キ施行ニ係ル工事費一時起債額ノ償還方法ニ就テハ、
 繰上臨時賦課金徴収ニ係ル十三万五千円迄ニ對シテハ甲當三〇、三〇〇圓
 臨時賦課金セザリシ一万五千円ニ對シテハ利子ヲ加算シ、甲當四三圓
 ヲ工事完成ノ過年度ヨリ毎年度之ヲ徴収シ、十年賦ヲ以テ償還スル計
 畫ニシテ、精屈組合員ノ甲當負擔額ハ臨時賦課金徴収ニ係ルモノヲ納シ
 三六三圓、悉クラザルモノハ四二〇圓トナル計畫ナリ。
 當初計畫ニ係ル事業費ハ別表算術事業年度別額及事業資金ニ與スル
 計畫ヲ示セバ左ノ如シ

(ウ) 事業費ノ日別算額

區分	總額	大正九年度	同十年度	同十一年度	同十二年度	同十三年度	同十四年度
工 事 費	三七、八七〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
本線工事費	一四、二〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
幹線工事費	九、三三〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
支線工事費	一三、七四〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
調査費	六〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
事務費	四、一三〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
計	四二、〇〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同

區分	總額	大正九年度	同十年度	同十一年度	同十二年度	同十三年度	同十四年度
工 事 費	三七、八七〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
本線工事費	一四、二〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
幹線工事費	九、三三〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
支線工事費	一三、七四〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
調査費	六〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
事務費	四、一三〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
計	四二、〇〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同

(ウ) 事業費年度別

區分	總額	大正九年度	同十年度	同十一年度	同十二年度	同十三年度	同十四年度
工 事 費	三七、八七〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
本線工事費	一四、二〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
幹線工事費	九、三三〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
支線工事費	一三、七四〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
調査費	六〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
事務費	四、一三〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同
計	四二、〇〇〇、〇〇〇	同	同	同	同	同	同

(一) 事業資金

年度	前年度繰越金		臨時賦課金	雑収入	借入金	合計
	前年度	繰越金				
大正九年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000
同 十年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
同 十一年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
同 十二年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
同 十三年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
同 十四年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
同 十五年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	50,000,000

備考

國庫補助金年割額ハ大正十二年度以降政府ノ都合ニ依リ尙書金額ノ減額(括弧内ハ既定年割額)變更シ、十五年度ニ於テ第一、四〇〇、〇〇〇圓ヲ計上セリ。

大正九年九月一日起二所定ノ經費預算額ハ實際ニ割シテ、各年多少ノ修正ヲ加ヘタルモ、根本計畫ヲ變更セズ依テ工事ハ豫定ノ工程ヲ以テ進行シ大正十二年ニ至レリ。然ルニ同年九月一日ノ關東大震災ハ、我國經濟界ニ一大恐慌ヲ來シ金融亦極度ニ衰進シ、一般事業ハ勿論本洲新設事業亦其ノ影響ヲ蒙リ從テ所定ノ六箇年完成計畫ヲ根本對ニ變更スルノ必要ヲ招致スルニ至リ大正十三年五月工事期間ヲ四箇年延長シ十箇年トシ、工費モ亦四八、一六三、〇〇五圓ニ改訂増額スルト共ニ組合負債額、國庫補助金ニモ變更ヲ蒙スニ至レリ。之即チ第一次改訂計畫ナリ。

第一次改訂計畫

第一次改訂計畫ノ趣意 本洲工事ハ大正十四年度迄ニ完成スル計畫ナリシモ

財界不況ノ影響ヲ受ケ專業資金ノ調達ニ支障ヲ來シ、一時工事ノ大縮少ヲ行ハザルヘカラザル懸念ニ遭シタルモ、其ノ後資金融通上ノ便宜ヲ得、之等金融上ノ關係ヲ考慮シ工程ヲ發排シテ、施工期間ヲ四箇年延長シ大正十八年（昭和四年度）迄ニ完成スルコトニ改訂セリ。

(何)專業費ノ増額 本專業當初ノ計畫ハ水源、給排水路、幹支線排水、制止表防等ノ工事ヲ施行シ、該水路ヨリ直接各耕地ニ至ル水利施設（小池、排水線）ハ組合員ニ於テ負擔直接施行ノ豫定ナリシモ、圳水ヲ適當ニ分配シ、三年輪作ノ徹底ヲ期セムガ爲ニハ、之等工事ヲモ組合ニ於テ統一施行スルノ要アルト共ニ、該工事費或工事延長ニ伴フ諸般ノ經費者別額六、一六三、五〇〇圓ヲ伴セテ總工費四八、一六三、〇〇〇圓ニ増額改訂セリ。

(イ)資金調達及組合員ノ負擔輕減 本圳工事費並工事延長ニ伴フ増加資金ノ組合員負擔ハ、既ニ苦痛ヲ感スル處ナルヲ以テ、之ヲ減輕ス政府（何）ノ國庫補助金ハ、既定ノ通り交付ヲ受クルハ勿論、工事延長ニ伴フ補助金ノ増額下附及大藏省指令ヨリノ借入金ヲ以テ充當シ又當初計畫ニ係

ル工事期間ヲ延長スル組合員等既除金一甲當十圓ハ之ヲ大正十年度六、圖五〇、同十年度七圓、同十一年度七圓ニ低減シ、尙十三年度以後ハ改訂計畫ニ係ル工事延長ニ係ルモノニアリテモ、其ノ延長期間中一率ニ甲當年額五圓ヲ徴收シ、工事完成部分ノ利益ヲ享受者ニ割シテハ他トノ權衡ヲ考慮シ特別負擔ヲ爲サシメ、工事中ノ借入金ハ工事完成後組合員ニ於テ、十箇年賦償還ノ豫定ナリシモ、地方ノ金融狀況、組合員ノ負擔能力等ニ鑑ミ、工事完成ノ翌年度即チ昭和五年度ヨリ昭和廿九年度迄二十五箇年賦ヲ以テ償還スルコトニ改訂セリ。

第一次改訂計畫ニ依ル專業費總額、年度割、財源ヲ表示スレバ左ノ如シ。

(イ) 第一次改訂計畫ニ依ル專業費總額

區分	改訂總額	計畫當初トノ比較		備 考
		當初總額	増引減△圓	
水源工事費	一、六三、五〇〇圓	一、五二、〇〇〇圓	一一、五〇〇圓	

幹線工事費	42,800,000	42,800,000	42,800,000	42,800,000	42,800,000	42,800,000	<p>當初計畫ニハ別途支辨ノ豫定ナリシマテ以テ之ヲ計上セザリシモノトシテ専ニ伴フ必然ノ支出ナルヲ以テ本報ニ之ヲ計上セリ</p>
支線二等費	12,100,000	12,200,000	12,200,000	12,200,000	12,200,000	12,200,000	
動 産 費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	
事務費及合議費	2,200,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	
徴 收 費	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	
計	62,100,000	62,200,000	62,200,000	62,200,000	62,200,000	62,200,000	

(二) 第一次改訂計畫ニ依ル事務費年表 其ノ一

區 分	總 額	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年
二 等 費	12,100,000	12,200,000	12,200,000	12,200,000	12,200,000
工 等 費	27,800,000	27,800,000	27,800,000	27,800,000	27,800,000
議 事 費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
徴 收 費	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000
計	55,000,000	55,000,000	55,000,000	55,000,000	55,000,000

會 議 費	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000
徴 收 費	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000
計	9,300,000	9,300,000	9,300,000	9,300,000	9,300,000

其ノ二

大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	大正十八年度
11,400,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000
20,800,000	21,000,000	21,000,000	21,000,000	21,000,000	21,000,000
8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
2,200,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000
7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000
42,100,000	42,200,000	42,200,000	42,200,000	42,200,000	42,200,000

(三) 第一次改訂計畫ニ依ル專業資金

國庫補助金臨時賦課金特別負擔金	雜收入	銀行及國庫借入金	計
4,500,000 圓	4,240,000 圓	10,800,000 圓	19,540,000 圓
4,500,000 圓	4,240,000 圓	10,800,000 圓	19,540,000 圓
4,500,000 圓	4,240,000 圓	10,800,000 圓	19,540,000 圓

第二次改訂計畫

專業ノ進捗ニ伴ヒ、鐵道工事現場ニ於ケル瓦斯爆發事故ノ類出並各種構造物ノ設計改善、用地及地上物件補償費等ニ起因シ、經費ノ不足ヲ來シ、昭和四年度ニ總工費ヲ五三、八〇圓、〇七八圓ニ增額改訂スルノ已ムナキニ至リ、其ノ增加額五、三二一、六七三圓ニ對シテハ、組合員ノ負擔ヲ考慮シ、既定補助額ノ率ニ準ジテ、六六〇、〇〇〇圓ハ之ヲ國庫ノ補助ニ仰キ、殘額ハ低利資金ノ融通ニ依ル見込ヲ以テ計畫ヲ成立セリ。

今其ノ概要ヲ摘記スルコト左ノ如シ。

(一) 專業費ノ増減

(一) 水源工事費ノ増加 本州設計中官田溪貯水池堰築工事ハ本邦ニ類例ナキ大工事ニシテ該工事現場ニ於テ數回ニ亘リ瓦斯爆發等ノ事故頻發シ工事ノ進行ヲ阻害セラレ、工期ノ延長ハ勿論、其ノ工法ノ適否ハ本州計畫ノ可否ヲ決スル重大ナル使命ヲ有スルモノナルヲ認メ、新界ノ權威者タル専門技師ノ招聘ヲ外陸ニ求メ以テ根本的ニ設計ヲ變更シタル爲メ之ガ工費並ニ調査設計ニ二九四萬圓ヲ要スルニ至レリ

(二) 特殊區域ノ設定及其ノ設備費 從來別館ノ水源ヲ有シ水糞運作ヲ爲シ來リタル土地及低濕地ニシテ、水糞作以外ノ耕作ニ適セサル土地ハ之ヲ一率ニ既定計畫タル三年輪作統制下ヨリ分離シ、水稻運作ノ特殊區域設定ニ要スル諸施設費及計畫當初ノ既設排水路並ニ自然溪流利用ニ依ル排水路ニシテ、年月経過ノ爲メ埋没又ハ地形變化セルモノノ根本的改修ヲ要スル給排水施設費六三萬圓ノ増額ヲ要ス

(三) 地上物件補償費ノ増加 鐵道本島ニ於ケル甘蔗ハ大産種ノ栽培ニ急進ナル變化ヲ來シ、又其ノ他ノ農作物ニ於テモ農事改良ニ依ル單位收量

著シク増加シ、從ツテ工事施行ニ伴フ地上物件ノ補償費及一部地地ノ買収費ニ不足ヲ來シ、所要經費一二〇万餘圓ノ増額ヲ要ス

四 従業員退職給與金 當初ノ計畫ニ於テハ豫算ニ之ヲ計上シタルモ第一次改訂計畫ニ於テハ、總工費中ヨリ節約檢出スル見込ヲ以テ削除セリ。然ルニ其ノ後専業ノ維持ニ伴ヒ工專費支出ノ實際ニ鑑ミ、該工專費ニ餘額ヲ生スヘキ見込ナク且ツ従業員ノ解職ニ際シテハ相當ノ給與金ヲ支給スルハ組合規約ノ定ムル所ナルヲ以テ、之ガ豫算五五万餘圓ノ増額ヲ要ス

四 増額資金ノ調達及組合員ノ交際

第二次改訂計畫ニ依リ總工費ノ増額五、三二一、六七三圓、組合員ノ負擔能力ノ事情ニ照シ、之ガ救済方法トシテ既定國庫補助金一〇八〇、〇〇〇圓ヲ昭和五年度迄ニ分期交付ヲ受タルノ外、既定補助率ニ準ジ、増額資金ノ半額即チ二、六六〇、〇〇〇圓ノ増額交付ヲ受タルト共ニ、昭和四年度末償還繰上金額二、七七一、〇〇〇圓及昭和五年度初頭所費一、五〇〇、〇〇〇圓計四、二七一、〇〇〇圓ノ最低額ニテ、昭和五年度以降

四箇年増額、爾後十五箇年々賦償還ノ方法ニ依リ國庫ヨリ借入レ其ノ他ノ所要資金ハ必要ニ應ジ隨時普通銀行ヨリ借入ヲ爲ス計畫ナリ
今左ニ第二次改訂計畫専業費豫算並年額額ヲ表示スレバ左ノ如シ

(一) 第二次改訂計畫ニ依ル専業費豫算

區分	改訂豫算額	第一次改訂計畫豫算トノ比較		備 考
		第一次改訂豫算額	第二次改訂豫算額	
水滸工事費	一、六三六、九七九圓	一、六三三、〇〇〇圓	三、九七九圓	三、二六四、〇〇〇圓ノ書文費、官田築、渡頭築水橋建設ニ要スル經費ニシテ、本島線賣鐵道線路築用トシテ該架橋費補助金ヲ以テ施行ニ係ルモノヲ本項ニ計上セリ
幹線工事費	一、〇八五、四〇八圓	一、〇八五、〇〇〇圓	四〇八圓	
支線工事費	一、五八八、四三二圓	一、五八二、四三〇圓	六、〇〇〇圓	
調査費	三〇〇、〇〇〇圓	三〇〇、〇〇〇圓	〇	
專務費	五七五、五二三圓	四六二、四三三圓	一一三、一〇〇圓	
徵收費及異動地整理費	一、一六六、四一一圓	一、一六六、四一一圓	〇	
計	五、八六〇、四〇八圓	五、八一六、四〇三圓	四四、〇〇〇圓	

(二) 第一次改訂計畫ニ依ル事業費年度割 其ノ一

區分	大正九年	同十年度	同十一年度	同十二年度	同十三年度	同十四年度
工事費總費	70,671.33	71,622.33	72,172.66	72,822.66	73,472.66	74,122.66
工事費	70,000.00	71,000.00	71,500.00	72,000.00	72,500.00	73,000.00
補充費	672.33	622.33	672.66	822.66	972.66	1,122.66
事務費	1,670.84	1,610.10	1,670.00	1,720.00	1,770.00	1,820.00
徵收費	50,000.00	51,000.00	51,500.00	52,000.00	52,500.00	53,000.00
募集費	-	-	-	-	-	-
合 計	72,271.17	73,232.43	73,782.66	74,332.66	74,882.66	75,432.66

其ノ二

區分	同二年度	同三年度	同四年度	計
工事費總費	71,000.00	72,000.00	73,000.00	73,000.00
工事費	70,000.00	71,000.00	72,000.00	72,000.00
補充費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
事務費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
徵收費	50,000.00	51,000.00	52,000.00	52,000.00
募集費	-	-	-	-
合 計	73,000.00	74,000.00	75,000.00	75,000.00

(四) 第二次改訂計畫ニ依ル專業資金

國庫進出金	國庫貯蓄金	海湖進出金	雜收入	銀行借入金	國庫借入金	合計
圓 210,326.00	圓 41,000.00	圓 42,000.00	圓 150,500.00	圓 1,226,000.00	圓 1,226,000.00	圓 2,970,826.00

專業資金收支計畫表 (大正九年度 昭和四年度)

工專著手以來、完成迄ノ專業資金收支決算額ヲ各年度別ニ表示スルニ
次ノ如シ

(三) 收入之數

年度別	組合費	雜收入 其ノ他	前年度 繰越金	國庫補助金	借入金	計
大正九年	圓 1,320,000.00	圓 1,000.00	圓 1,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 3,322,000.00
十年	圓 867,000.00	圓 2,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 4,869,000.00
十一年	圓 820,000.00	圓 2,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 5,822,000.00
十二年	圓 820,000.00	圓 2,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 5,822,000.00
十三年	圓 820,000.00	圓 2,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 5,822,000.00
十四年	圓 820,000.00	圓 2,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 5,822,000.00
昭和元年	圓 820,000.00	圓 2,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 5,822,000.00
二年	圓 1,000,000.00	圓 1,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 7,002,000.00
三年	圓 1,000,000.00	圓 1,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 7,002,000.00
四年	圓 1,000,000.00	圓 1,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 7,002,000.00
五年	圓 1,100,000.00	圓 1,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 1,000,000.00	圓 8,102,000.00

白 蔵 出 之 概

年度別	特別新設費	特別維持費	雑支出 其ノ他	貸付償還費	計	翌年度繰入金
大正九年度	三三三〇八八圓	一	四三三三三	四三三〇三	三三三三三〇三	一三三三三〇三
十年度	六六六六一六圓	一	一三三三三	四三三〇三	六六六六六〇三	三三三三三〇三
十一年度	三三三三三三圓	一	一三三三三	三三三〇三	三三三三三〇三	三三三三三〇三
十二年度	三三三三三三圓	一	一三三三三	三三三〇三	三三三三三〇三	三三三三三〇三
十三年度	六六六六一六圓	一	一三三三三	三三三〇三	六六六六六〇三	三三三三三〇三
十四年度	三三三三三三圓	一	一三三三三	三三三〇三	三三三三三〇三	三三三三三〇三
昭和元年度	三三三三三三圓	一	一三三三三	三三三〇三	三三三三三〇三	三三三三三〇三
一二年度	六六六六一六圓	一	一三三三三	三三三〇三	六六六六六〇三	三三三三三〇三
一三年度	三三三三三三圓	一	一三三三三	三三三〇三	三三三三三〇三	三三三三三〇三
一四年度	六六六六一六圓	一	一三三三三	三三三〇三	六六六六六〇三	三三三三三〇三
一五年度	三三三三三三圓	一	一三三三三	三三三〇三	三三三三三〇三	三三三三三〇三

備 考

右ハ新設特別ニ關スル經費決算額ニシテ、東南大洲ニ繰入セラルル在來特別ニ關スル經費ハ含まス

(イ) 專案費決算決算額ハ前掲ノ如クニシテ、主要工事ノ竣功ハ昭和四年度末ニ於テ大體終了ヲ遂ゲタルモ、若シ補修費ノ支拂手續未済ノ爲、其ノ一部ヲ昭和九年度ニ繰越整理中ニ關スルモノアリ

左ニ昭和八年度迄ノ專案費決算決算額ヲ掲ゲテ參考ニ資セムトス

昭和八年度迄專案費決算決算額

區 分	總 算 額	昭和八年 度迄決算額	昭和九年度迄 繰越使用額
水廻り工事費	一三三三三三圓	一三三三三三圓	一圓
陸揚工事費	二二二二二二圓	二二二二二二圓	一
支拂工費	三三三三三三圓	三三三三三三圓	一
其他費	四四四四四四圓	四四四四四四圓	一
計	三三三三三三圓	三三三三三三圓	三三三三三三圓

調査費	三六六八二	三六六八二	一
計	四三三四七	四三三四七	三六〇四〇
事業費會議費	三三三九六	三三三九六	一
費	七六八三〇	七六八三〇	一
獎勵遊藝遊費	三三三九六	三三三九六	一
合計	三三三三六七八	三三三三六七八	三六〇四〇

備考

本事業費當初豫算ハ四二、〇〇〇、〇〇〇圓ナリシガ大正十三年四月八、一六三、〇〇〇圓ニ第一次改訂増額ヲナシ昭和四年二月三三、四八四、六七八圓ニ改訂シ工事を進メタルニ、昭和五年夏秋ニ至リ、甚大ナル風水害ヲ蒙リ之ガ復舊費六五五、〇〇〇圓ヲ要シタルモ、同豫算ノ更正ヲ爲サズ昭和三年三月片地費ニ追加費正シタルト、同費ノ支拂手續未済トニ依リ昭和九年度ニ繰越金運ヲ要スル事トナリ結局昭和八年度ニ於テ前掲ノ如ク決算ヲナシタルモノナリ。